



令和5年1月27日  
唐津海上保安部

## 「令和4年 船舶事故・人身事故発生状況（速報）」

令和4年に発生した唐津海上保安部管内での事故発生状況をお知らせします。

なお、本値は速報値であることから、確定後の値と異なる場合があります。

### 1. 船舶事故発生状況

- 船舶事故の隻数 19隻(昨年比7隻減少) . . . . . 図1-1

このうち、死者・行方不明者0人（5年連続0人）

- プレジャーボートの事故隻数は10隻（昨年比8隻減） . . . 図1-2
- 漁船の事故隻数は6隻（昨年比3隻増加） . . . . . 図1-12
- 水上オートバイによる事故は0隻（2年連続0隻） . . . . . 図1-14

### 2. 人身事故発生状況

- 人身事故者数 16人(昨年比1人減) . . . . . 図2-1

このうち、死者・行方不明者10人（昨年比3人増）

- マリンレジャーによる事故者数 6人（昨年比2人減） . . . 図2-5

このうち、死者・行方不明者数 3人（昨年比2人増）

### 3. 若年層（中学生以下）の事故者数

- 5年ぶりに事故者数0人（昨年比3人減少） . . . . . 図2-13

昨年比：令和3年との比較

# 「令和4年海難発生状況（速報資料）」

## 目次

### 第Ⅰ 船舶事故発生状況（速報）

|      |  |           |
|------|--|-----------|
| I-1  | 船舶海難発生状況〔過去10年(H25～R4)〕                      | …………… P 1 |
| I-2  | 海難種類別発生状況の推移〔過去10年(H25～R4)〕                  | …………… P 1 |
| I-3  | 海難種類別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕                  | …………… P 2 |
| I-4  | 船舶種類別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕                  | …………… P 2 |
| I-5  | プレジャーボート海難種類別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕          | …………… P 3 |
| I-6  | プレジャーボート運航不能海難内容別発生状況 (R4)                   | …………… P 3 |
| I-7  | プレジャーボート海難月別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕           | …………… P 4 |
| I-8  | 漁船海難種類別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕                | …………… P 4 |
| I-9  | 水上オートバイ海難種類別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕           | …………… P 5 |
| I-10 | 水上オートバイ運航不能海難種類内容別発生状況<br>〔R4・過去10年(H25～R4)〕 | …………… P 5 |

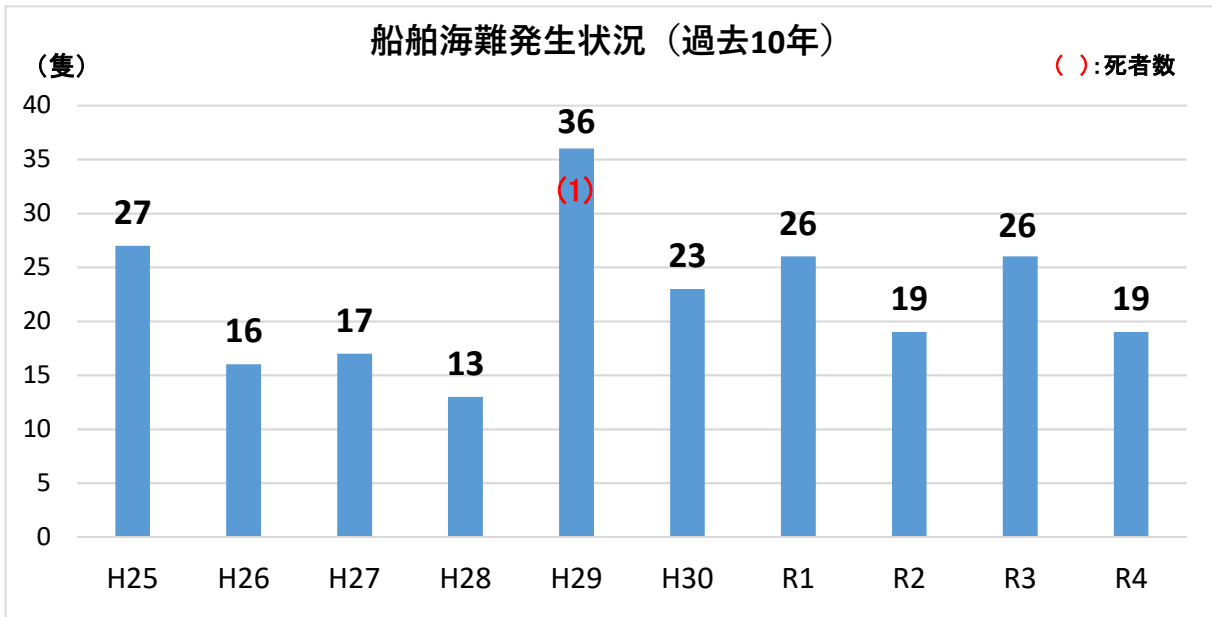
### 第Ⅱ 人身事故発生状況（速報）

|      |   |           |
|------|---|-----------|
| Ⅱ-1  | 人身海難発生状況〔過去10年(H25～R4)〕                       | …………… P 5 |
| Ⅱ-2  | 人身海難内容別死者数の推移〔過去10年(H25～R4)〕                  | …………… P 5 |
| Ⅱ-3  | 人身海難区分別発生状況〔R4・過去10年(H25～R4)〕                 | …………… P 6 |
| Ⅱ-4  | マリンレジャーに伴う事故者数の推移〔過去10年(H25～R4)〕              | …………… P 6 |
| Ⅱ-5  | マリンレジャーに伴う海浜事故発生状況（活動別）<br>〔R4・過去10年(H25～R4)〕 | …………… P 7 |
| Ⅱ-6  | 釣り中の事故者数の推移〔過去10年(H25～R4)〕                    | …………… P 7 |
| Ⅱ-7  | 釣り中の場所別発生状況〔過去10年(H25～R4)〕                    | …………… P 8 |
| Ⅱ-8  | 釣り中の死亡事故発生状況〔過去10年(H25～R4)〕                   | …………… P 8 |
| Ⅱ-9  | 釣り中の行動形態と死者・発生率〔過去10年(H25～R4)〕                | …………… P 9 |
| Ⅱ-10 | 若年層（中学生以下）の事故者数の推移〔過去10年(H25～R4)〕             | …………… P 9 |

## 第 I 船舶事故発生状況（速報）

### I - 1 船舶海難発生状況〔過去 10 年（H25～R4）〕

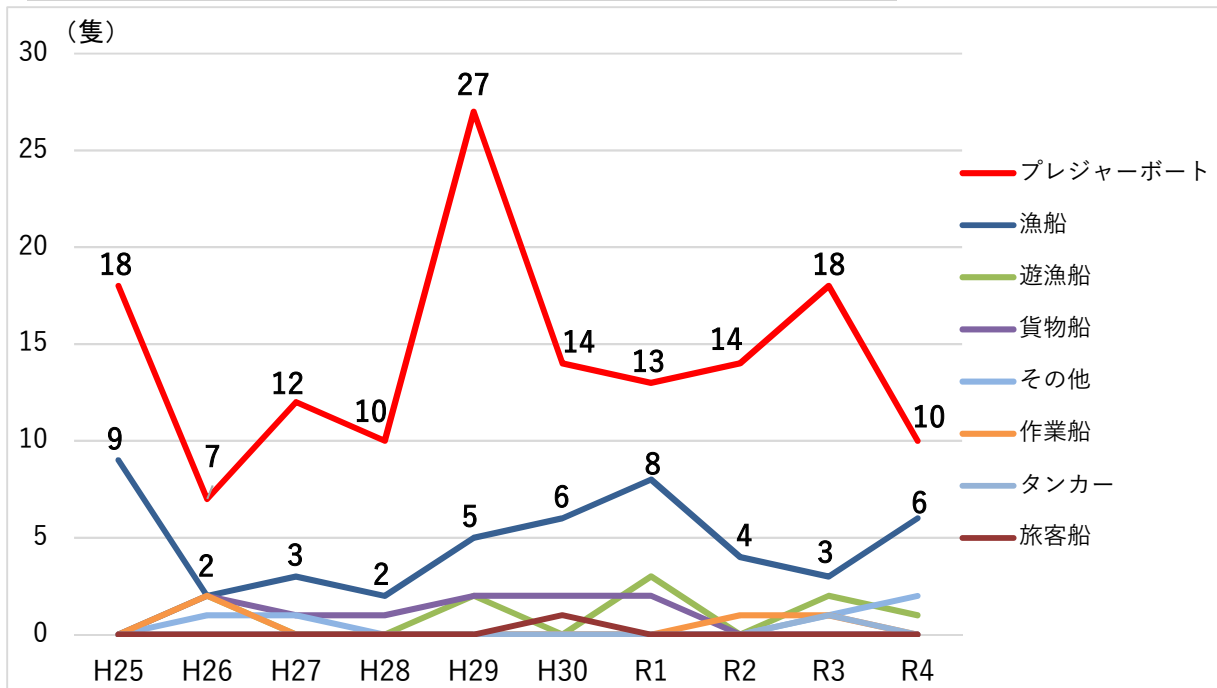
図 1-1



- 令和 4 年の船舶海難隻数は 19 隻でした。
- 船舶海難による死者・行方不明者は 5 年連続ゼロとなっています。

### I - 2 船舶種類別発生状況の推移〔過去 10 年（H25～R4）〕

図 1-2



- 令和 4 年の船舶種類別の隻数は、プレジャーボート 10 隻が最も多く、次いで漁船 6 隻の順となっています。
- 過去 10 年間に於いても、プレジャーボートが最も多く、次いで漁船の順となっています。

I - 3 海難種類別発生状況〔R4・過去10年（H25～R4）〕

海難種類別発生状況（R4）

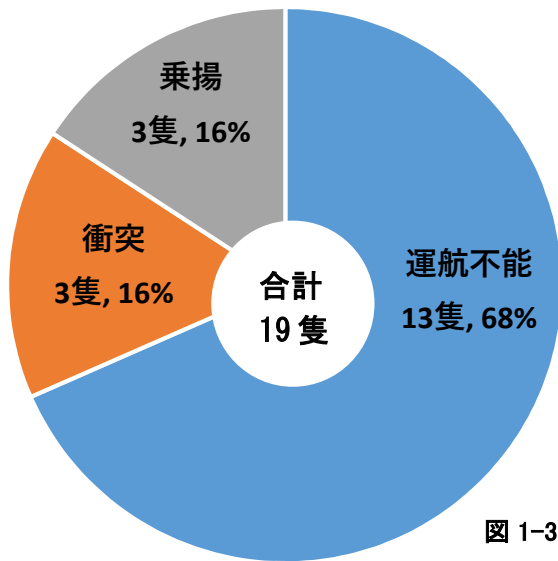


図 1-3

海難種類別発生状況（過去10年）

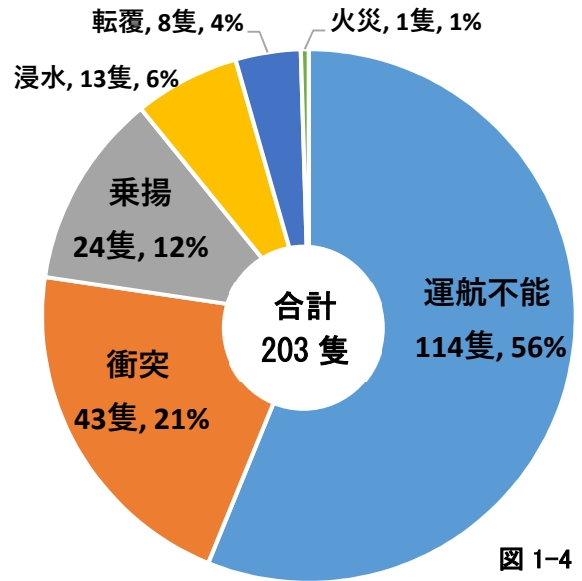


図 1-4

- 令和4年は、海難種類別では、運航不能が6割以上を占め、次いで衝突、乗揚の順に発生。
- 過去10年間においても、運航不能、衝突、乗揚の順で同様の傾向となっています。

I - 4 船舶種類別発生状況〔R4・過去10年（H25～R4）〕

船舶種類別発生状況（R4）

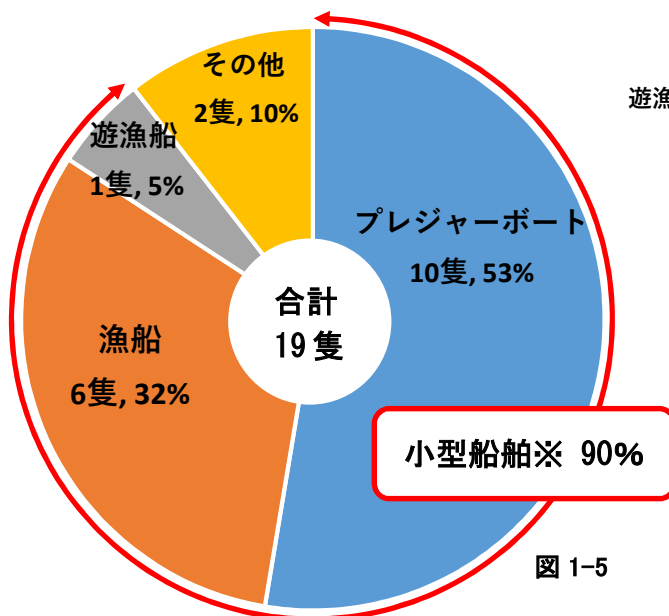


図 1-5

船舶種類別発生状況（過去10年）

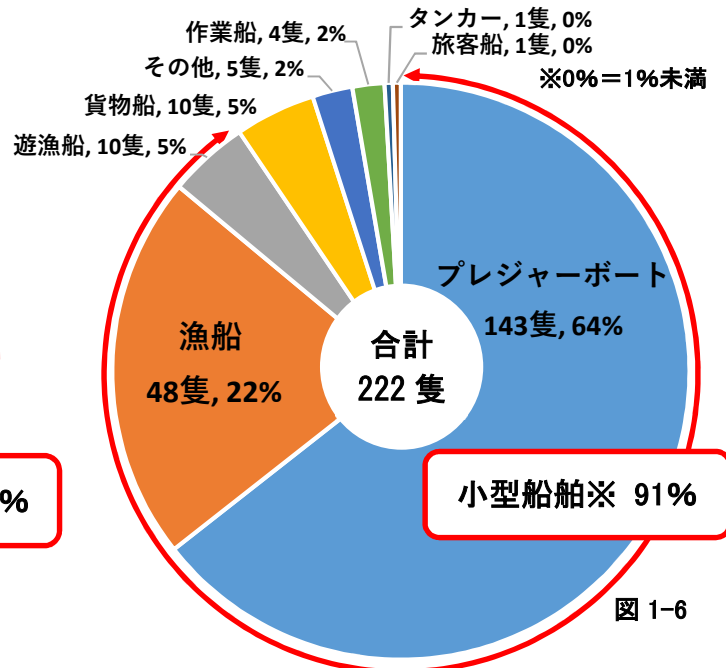


図 1-6

令和4年の※小型船舶の海難が占める割合は、過去10年間と同様、全体の9割を占めています。※ 小型船舶：総トン数20トン未満の船舶（プレジャーボート、漁船、遊漁船等）

Ⅰ-5 プレジャーボート海難種類別発生状況〔R4・過去10年（H25～R4）〕

PB海難種類別発生状況(R4)

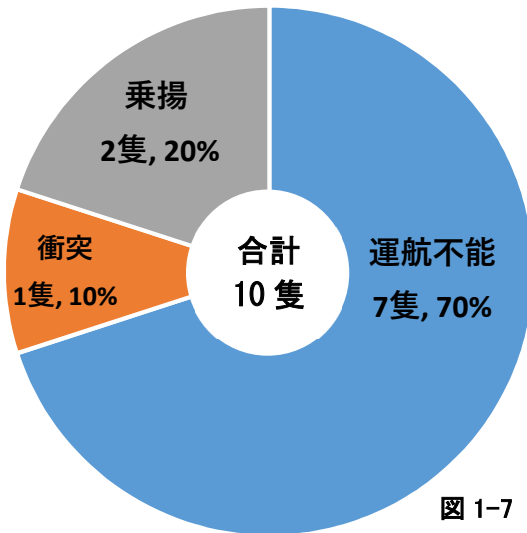


図 1-7

PB海難種類別発生状況（過去10年）

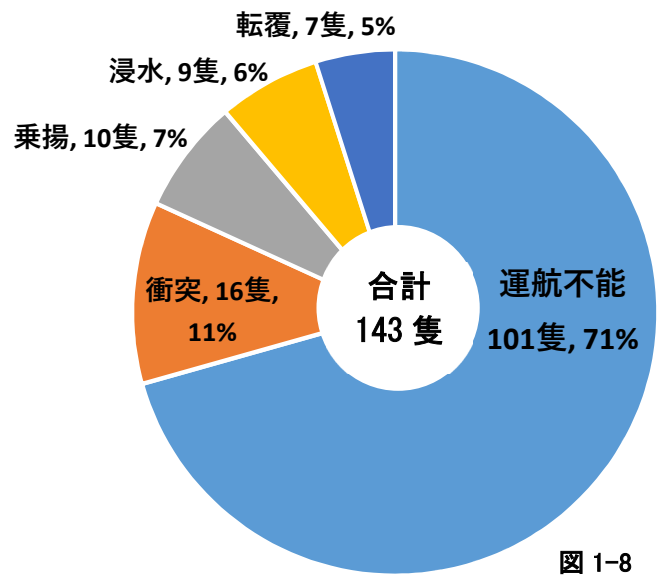


図 1-8

※ 運航不能：機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏等

※ PB：プレジャーボート

- 令和4年のPBの海難種類別では運航不能が7割を占め、例年と同様の割合となっています。
- 乗揚の割合が高くなっており、原因は、水路調査不十分と見張り不十分によるものでした。
- 過去10年間では、運航不能が7割以上を占め、次いで衝突、乗揚の順で発生しています。

Ⅰ-6 プレジャーボート運航不能海難内容別発生状況（R4）

※ PB：プレジャーボート

PB運航不能海難内容別発生状況

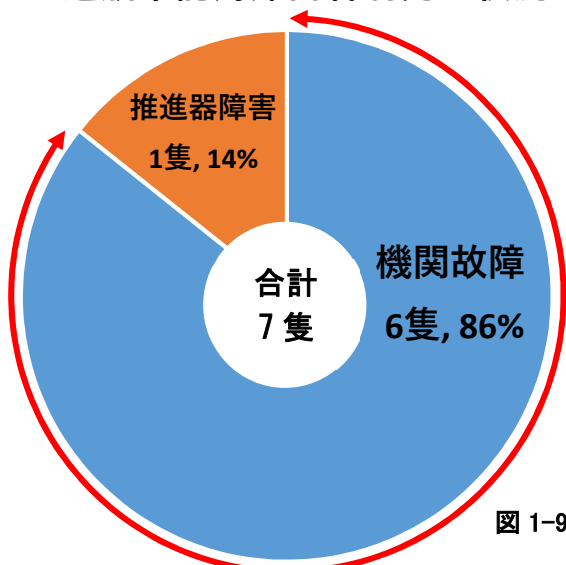


図 1-9

PB機関故障原因

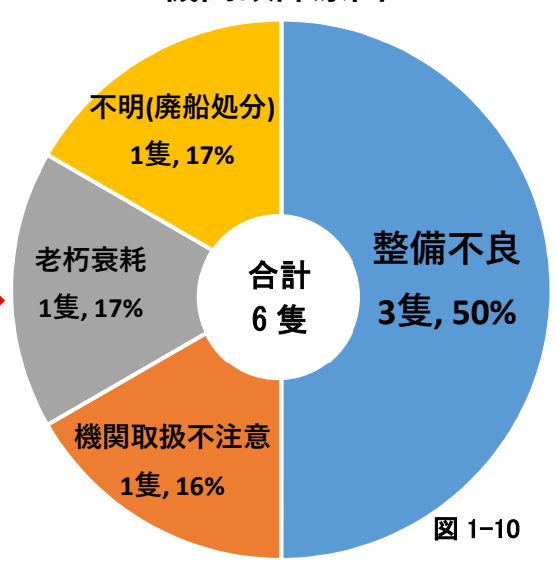
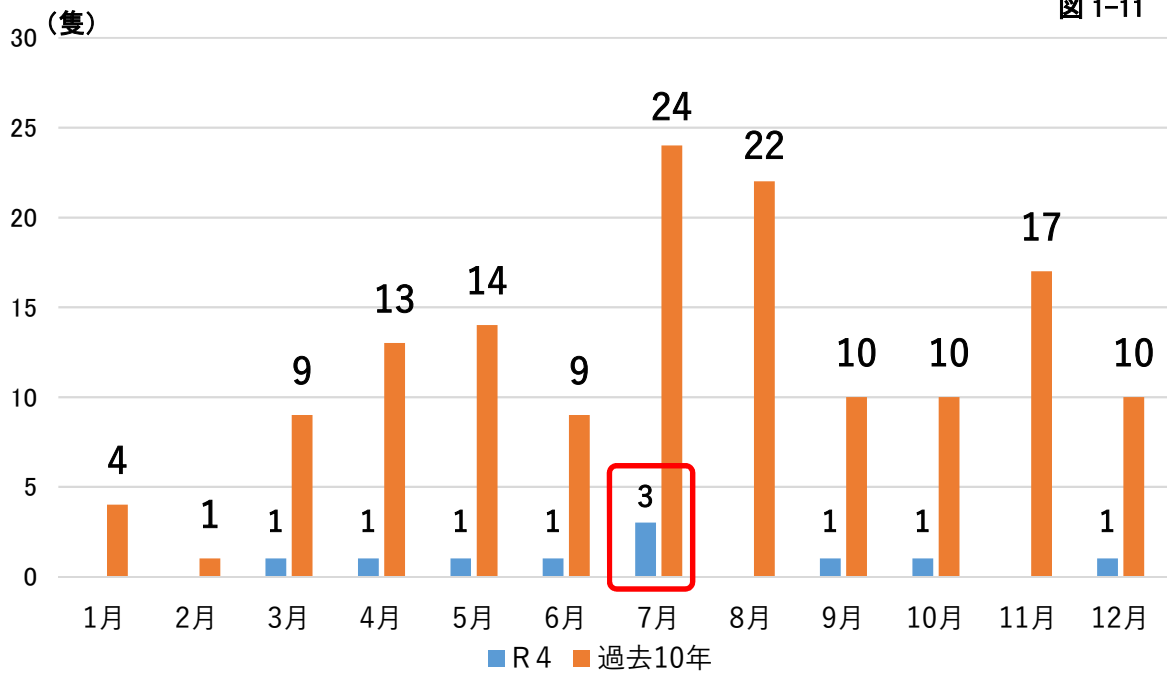


図 1-10

- プレジャーボートの運航不能では、機関故障が最も多く発生しています。
- 機関故障の原因として、整備不良や老朽衰耗も原因となっており、日頃の点検整備、発航前点検の徹底が必要です。

Ⅰ-7 プレジャーボート海難月別発生状況〔R4・過去10年（H25～R4）〕

図 1-11



- 令和4年は、7月に多く発生しています。
- 過去10年間では、7・8月の夏場が最も多いですが、春季、秋季も比較的高い発生状況となっています。

Ⅰ-8 漁船海難種類別発生状況〔R4・過去10年（H25～R4）〕

漁船海難種類別発生状況(R4)

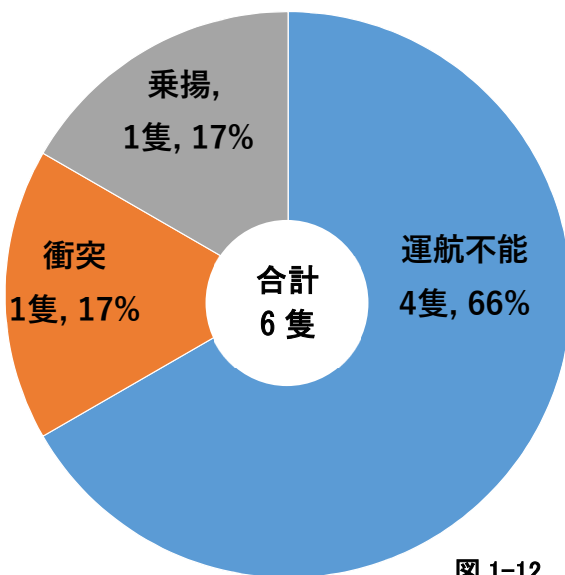


図 1-12

漁船海難種類別発生状況（過去10年）

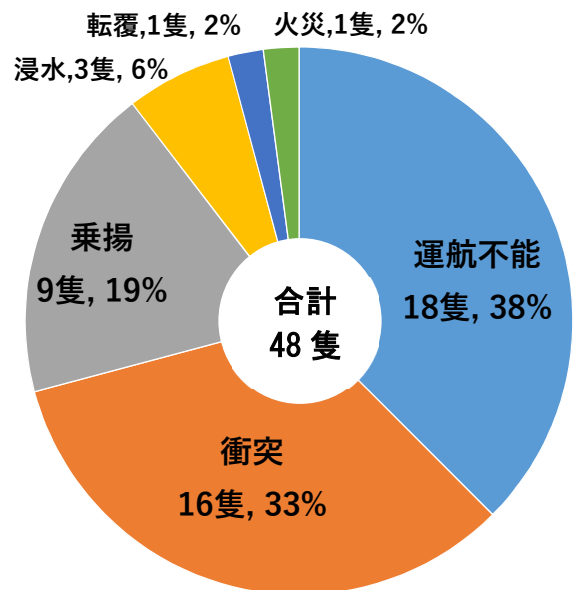
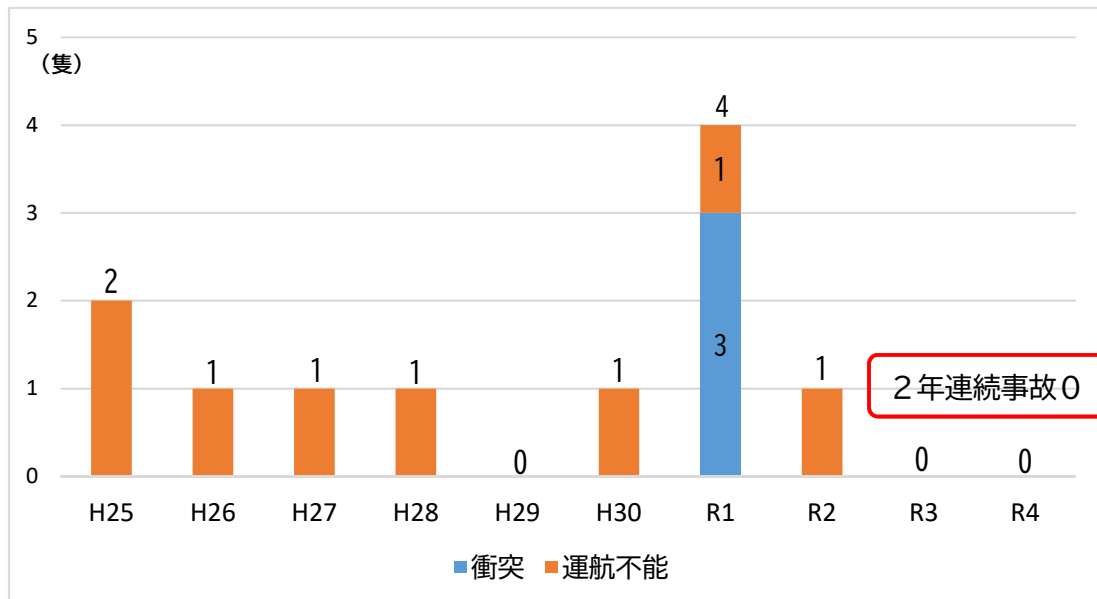


図 1-13

- 昨年と過去10年同様に、運航不能が最も多く、次いで衝突、乗揚の順に発生しています。
- 過去10年間、漁船海難における死者・行方不明者は発生しておりません。

Ⅰ-9 水上オートバイ海難種類別発生状況〔過去10年（H25～R4）〕

図 1-14



- 令和4年は2年連続事故0となりました。
- 水上オートバイの事故防止について、夏場の民間ボランティア団体の啓発活動に加え、夏のシーズン前に自治体、民間ボランティア団体、関係機関と連携した合同取り締まり訓練を実施するなど、危険航行等への注意喚起により事故防止につながったものと思われます。

Ⅰ-10 水上オートバイ海難種類別発生状況〔過去10年（H25～R4）〕

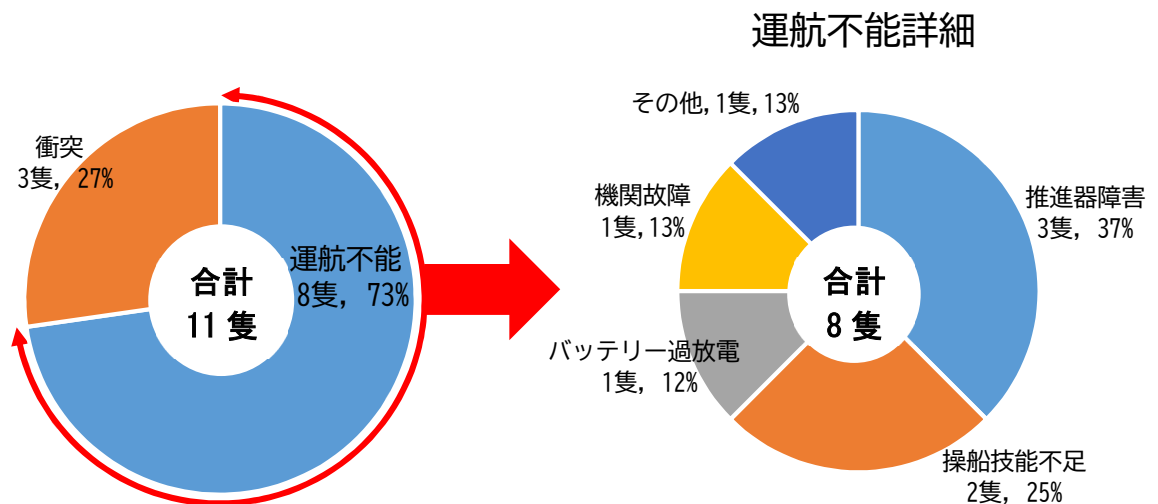


図 1-15

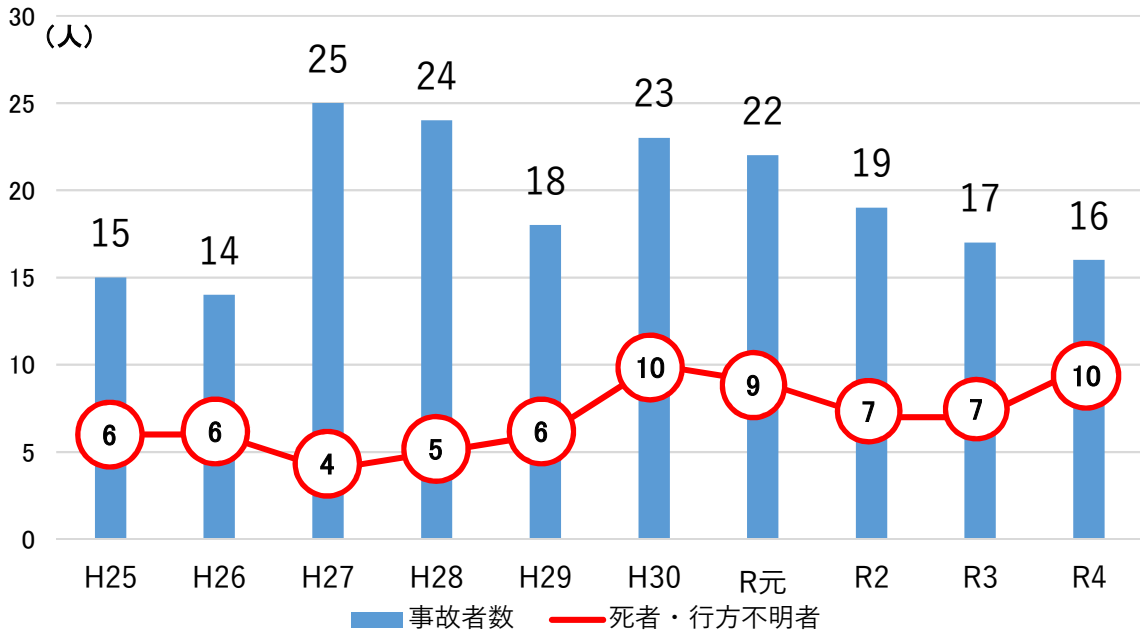
図 1-16

- 令和4年は事故0ですが、過去10年では運航不能が最も多い傾向となっております。
- ・推進器障害は、自船の海水吸入口にロープを吸い込み航行不能となったもの。
- ・操船技能不足は、誤って急発進させ無人航行となったものや、転覆状態からの復原能力不足。
- ・その他は、転覆状態から復原方法を誤り、機関に海水が流入したことで航行不能となったもの。

## 第Ⅱ 人事故発生状況（速報）

### Ⅱ－1 人身海難発生状況〔過去10年（H25～R4）〕

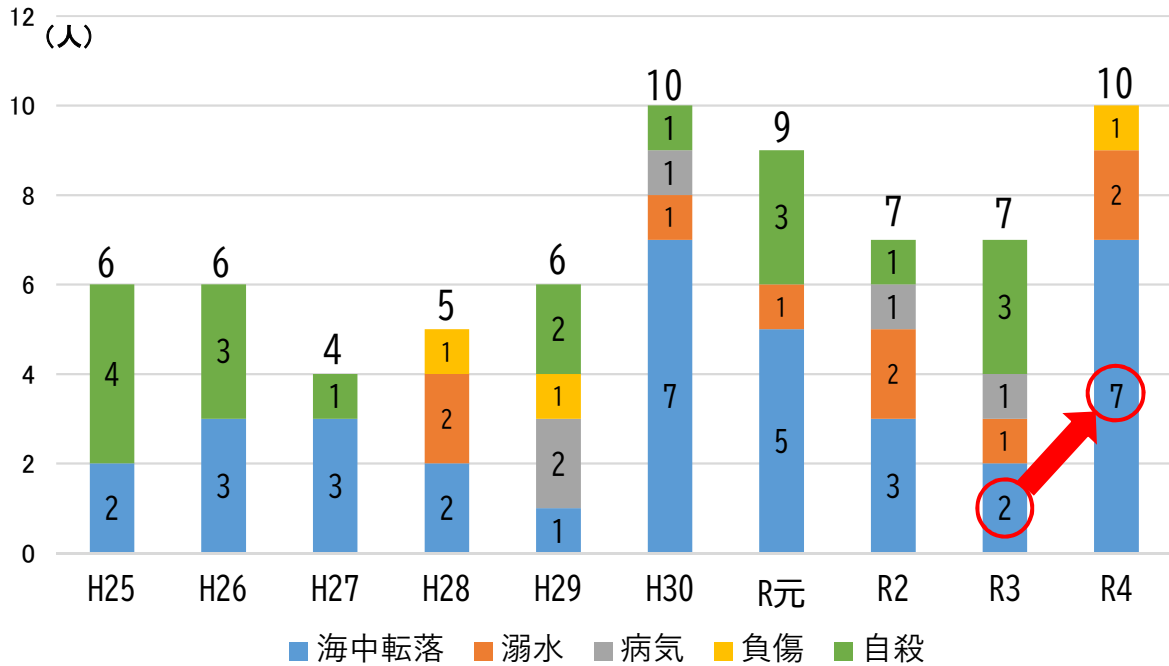
図 2-1



- 全体の事故者数は、H27年以降、減少傾向にあります。
- 死者数は、概ね横ばいを推移しています。

### Ⅱ－2 人身海難内容別死者数の推移〔過去10年（H25～R4）〕

図 2-2



- 令和4年は海中転落が7人（前年比5人増）となっており、乗船中の船舶から（4人）、岸壁・防波堤から（2人）、磯場から（1人）の順となっています。
- 過去10年、海中転落が最も多く、全体（70人）の43%（39人）を占めています。



## II - 3 人身海難区分別発生状況〔R4・過去10年（H25～R4）〕

人身事故区分別発生状況（R4）

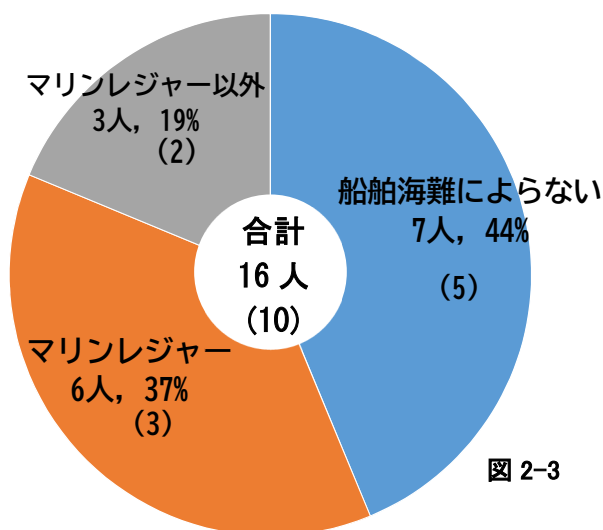


図 2-3

人身事故区分別発生状況（過去10年）

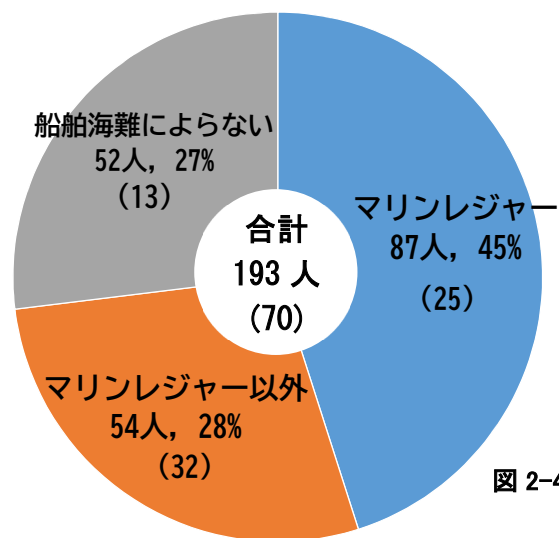


図 2-4

- 令和4年は、船舶海難によらない乗船者の事故が最も多く発生、4割以上を占めています。
- 過去10年間では、マリンレジジャーに伴う海浜事故が多く、マリンレジジャー以外の海浜事故、船舶海難によらない乗船者の人身事故の順で発生しています。
- ※ マリンレジジャー以外の海浜事故とは、岸壁からの転落、負傷、自殺等
- ※ 船舶海難によらない乗船者の人身海難とは、船舶からの海中転落、船内における病気、負傷等
- ※ グラフ内（ ）は、死者数

## II - 4 マリンレジジャーに伴う事故者数の推移〔過去10年（H25～R4）〕

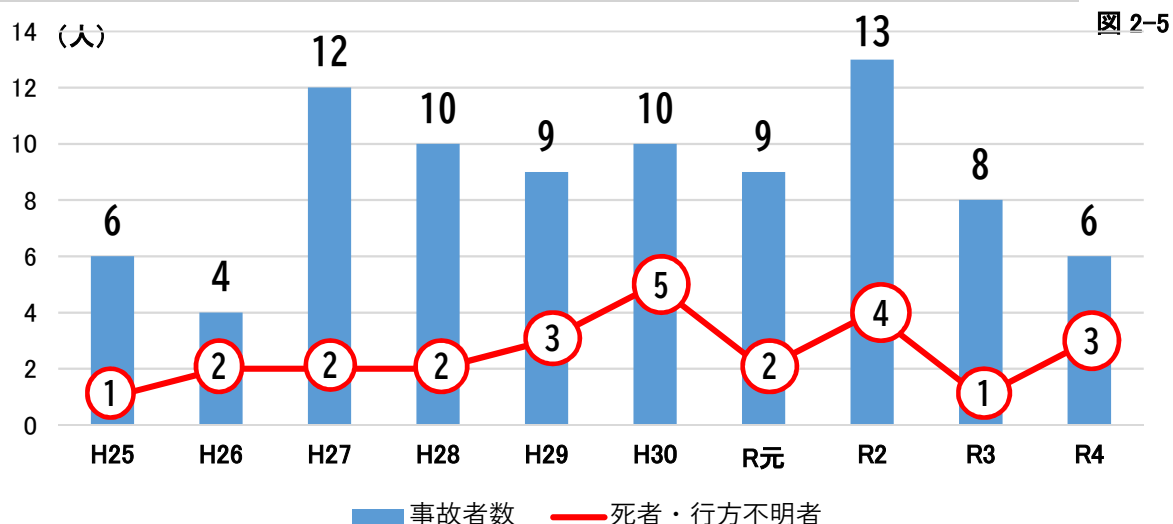


図 2-5

- 令和4年のマリンレジジャーに伴う事故はH27年以降最も少なく減少傾向となっています。
- 令和4年の死者数は3人、増減しながら横ばいを推移しています。

II-5 マリンレジャーに伴う海浜事故発生状況（活動別）〔R4・過去10年（H25～R4）〕

マリレに伴う海浜事故内訳（R4）

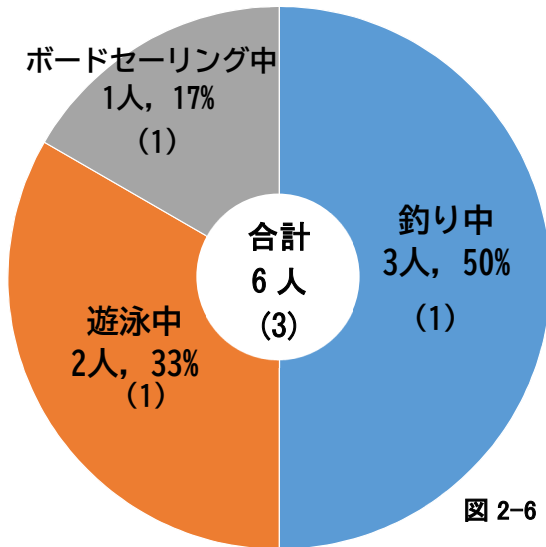


図 2-6

マリレに伴う海浜事故内訳（過去10年）

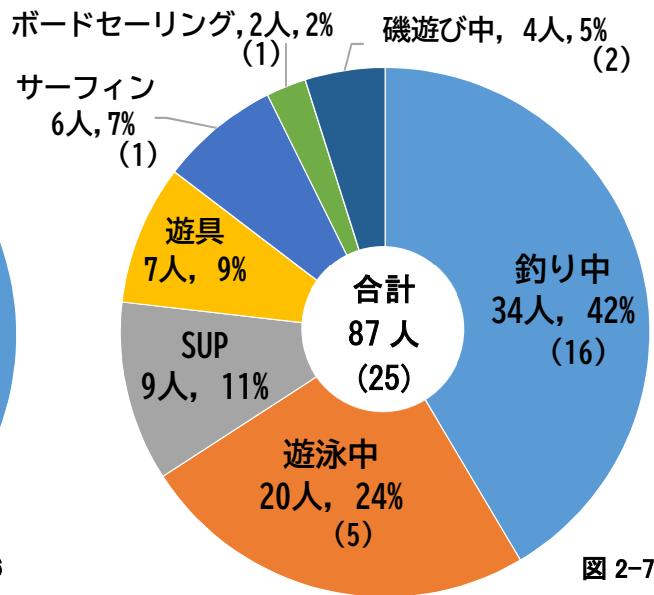


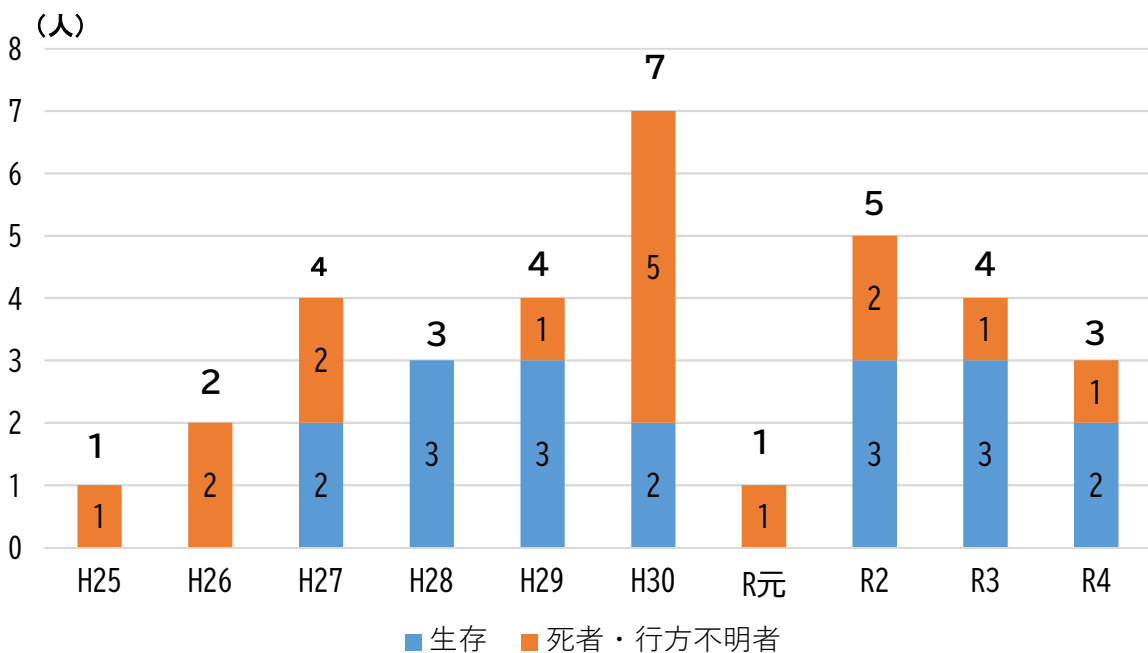
図 2-7

※ “マリレ”とは、マリンレジャーの意味 ※ SUP:スタンドアップパドルボード

- 令和4年の事故は、釣り中が最も多く、遊泳中、ボードセーリング中の順となっています。
  - 過去10年も釣り中と遊泳中の事故が最も多く、死者数は全体の8割を超えています。
- ※ グラフ内（ ）は、死者数

II-6 釣り中の事故者数の推移〔過去10年（H25～R4）〕

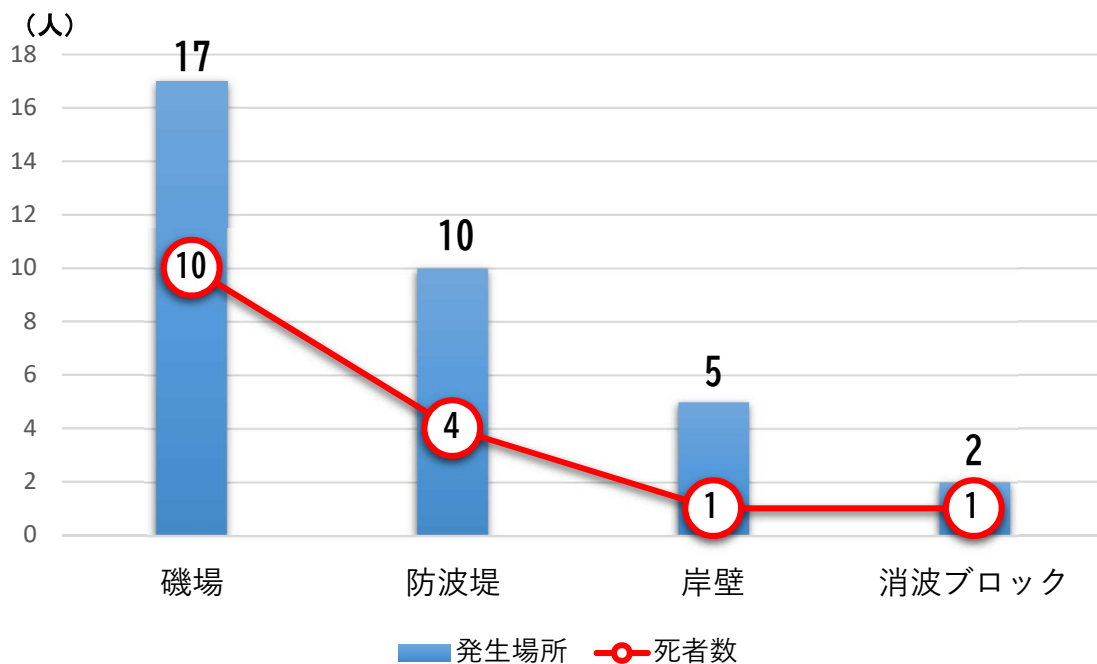
図 2-8



- 事故者数は、令和2年から減少傾向にあります。
- 過去10年、死者・行方不明者はH30年を除きほぼ横ばいを推移しています。

## II - 7 釣り中の場所別発生状況〔過去10年（H25～R4）〕

図 2-9



過去10年間の釣り中の事故発生場所では、磯場での事故が最も多く発生しています。

## II - 8 釣り中の死亡事故発生状況〔過去10年（H25～R4）〕

### 釣り中の死亡者事故内容

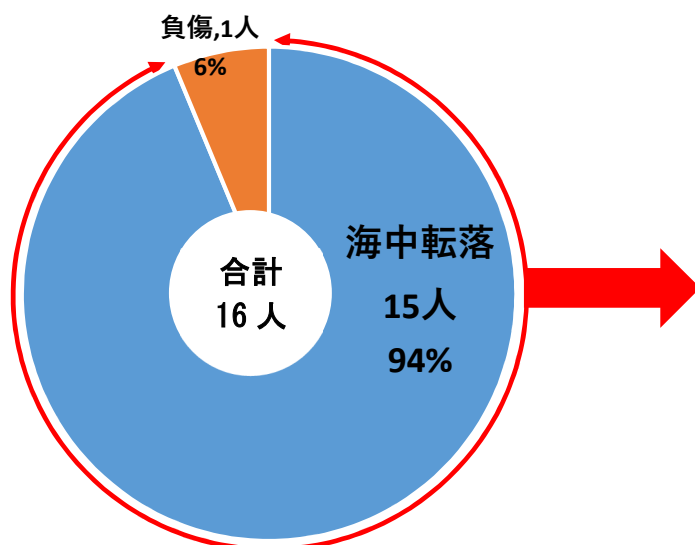


図 2-10

### 海中転落による死亡者の救命胴衣着用状況

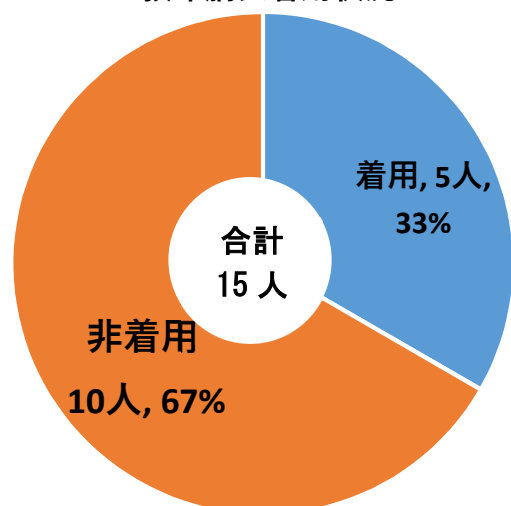
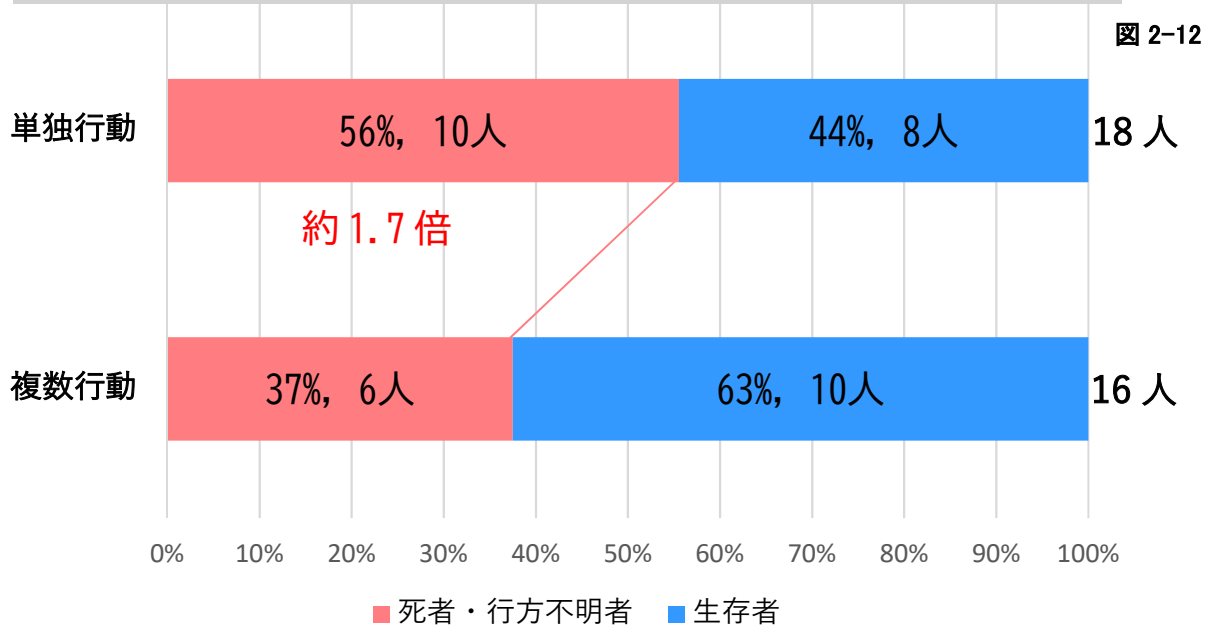


図 2-11

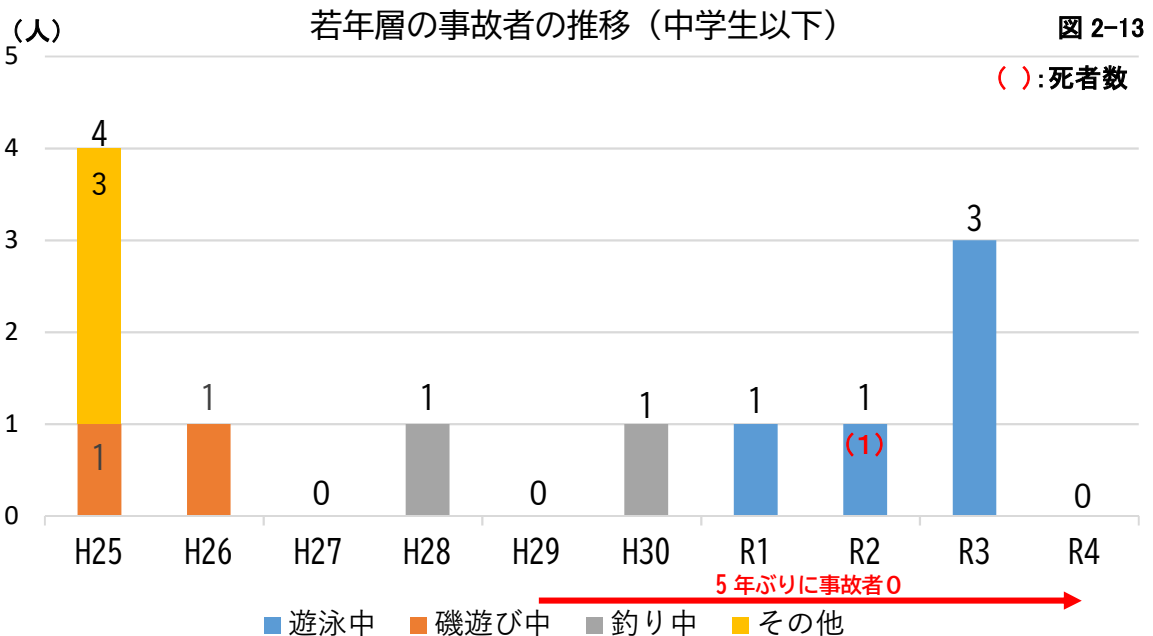
- 過去10年間、死亡事故の9割以上を海中転落が占めています。
- 海中転落で死亡した事故者の救命胴衣着用率は、非着用が6割以上を占めています。

## II-9 釣り中の行動形態と死者・発生率〔過去10年（H25～R4）〕



単独行動における死者は10人（56％）となっており、単独行動の死者の割合は複数行動の死者の割合の約1.7倍となっています。

## II-10 若年層の事故者数の推移〔過去10年（H25～R4）〕



- 令和4年では若年層（中学生以下）は5年ぶりに事故者0となっています。  
 ※「その他」はビニールボート遊び中  
 今後も自治体や関係機関等と連携しながら、地域の小中学生に対する「海の安全教室」等、啓発活動に取り組んで参ります。